

## 乳がんについて

乳がんは2014年の地域がん登録全国合計による罹患データによると女性の新たに診断されたがん(罹患率)の第1位となっています。また2017年の人口動態統計によるがん死亡データによると女性のがんによる死亡原因の第5位となっています。

乳がんの自覚症状としては腫瘤触知、乳房皮膚の色調変化、くぼみ、血性乳頭分泌などが挙げられます。

### 乳がん検診の方法

診断のためにはMMG、乳腺エコー検査を行います。その所見でさらに精査が必要と判断した場合は細胞診検査や組織診検査を行います。細胞診検査は病変に細い針を刺し、細胞を吸引して行う方法や乳頭からの分泌液を採取して行う方法などです。組織診検査は病理診断を確定するための検査で、生検と呼ばれています。組織診検査では局所麻酔を行い、病変の組織(小さい塊)を採取します。注射針より太い針を使用する針生検、さらに太い針を使用する吸引式針生検、皮膚を切開して組織を採取する外科的な生検があります。細胞診検査に比べて確実な診断ができ、また調べられる細胞や組織の量が多いので、より詳しい情報を得ることができます。

### 乳がんと診断されたら

乳房内の腫瘍の進展状況を見るためにMRI検査や、遠隔転移の有無を検索するCT検査などを行います。これらの検査結果から病期(ステージ)を決定し治療方針を決定します。

乳がんの治療方法には手術療法、放射線治療、薬物療法(ホルモン療法、化学療法、分子標的薬治療)があります。また乳がんはがん細胞が持つ遺伝子の特徴によって5種のサブタイプに分類されます。サブタイプ分類をもとに腫瘍の性質に合わせて薬物療法の方針を決定します。病期が同じ乳がんであってもサブタイプにより行う薬物療法は変わってきます。

### 早期発見が大事です

乳がんは他のがんに比べて比較的早期発見しやすく治療をすれば治る可能性のあるがんです。

定期的に乳がん検診を受けてください。また月1回は自己検診をしていただき、自覚症状を認めた場合は乳腺外来を受診してください。

(上野総合市民病院 外科部長 毛利 智美)



## ◆平成31年度の講座を紹介します

# 上野公民館講座参加者募集

【問い合わせ】上野公民館

☎ 22-9637 FAX 22-9692

✉ gakashuu@city.iga.lg.jp

### 【内容】

#### ①悠々セミナー(全9回)

歴史や文学、人権、幅広い教養などを学びます。

5月～2020年3月のおおむね第4火曜日

午後1時30分～3時

#### ②歩いて元気&健康ストレッチ講座(全4回)

転倒を予防し、楽しく歩いて身体のバランスを整えます。

講師：佐藤 実さん

6月～9月のおおむね第1水曜日

午後2時～3時

【ところ】ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

【対象者】20歳以上の人

【定員】①150人 ②50人

※定員を超える場合は、抽選により受講者を決定し、結果を通知します。

### 【申込方法】

次のいずれかで申し込んでください。

○市ホームページから申し込む。

○上野公民館または上野支所管内の公民館分館にある申込用紙に必要事項を記入の上、電話・ファックス・持参のいずれかで申し込んでください。

### 【申込期間】

4月9日(火)～23日(火) 午前9時～午後5時

### 【申込先】

上野丸之内500番地 ハイトピア伊賀5階  
生涯学習センター(上野公民館)

※土・日曜日は ☎ 22-9801

## 無許可の廃品回収業者にご注意ください

全国的に無許可の廃品回収業者に関するトラブルが増えています。

市の許可や委託を受けずに、家庭から出される廃棄物を回収業者が収集し処理することはできません。無許可業者に粗大ゴミや廃家電製品などを引き渡すと、不法投棄やトラブルの元にもなりますので、無許可業者は絶対に利用しないでください。



※トラブルの事例

- 回収された廃家電製品などが、後日、近所の山林に不法投棄されていた。
- 無料だと思って回収を依頼したのに、作業後に運搬費や処理費とって高額な料金を請求された。

【問い合わせ】

廃棄物対策課 ☎ 20-1050 FAX 20-2575

## 忍者線（伊賀線）だより



「忍者線」・「忍者市駅」の誕生

2017（平成29）年2月22日の忍者市宣言から2年が経ち、伊賀鉄道では広く忍者市を発信するため、伊賀線に「忍者線」、上野市駅に「忍者市駅」という愛称を付けました。これまでも忍者列車や忍者マネキンなどで忍者を生かしたPRを行ってきま



したが、「忍者線」、「忍者市駅」の誕生により、さらなる魅力を発信していきます。

また、4月27日(土)から5月6日(月・祝)まで開催される「伊賀上野 NINJA フェスタ 2019」の期間中、忍者衣装を着ている人は、西大手駅～茅町駅間を無料で乗車いただけるほか、期間限定で同区間を乗り降りできる手裏剣型フリー切符も販売しますので、この機会にぜひご利用ください。

【問い合わせ】

- 交通政策課 ☎ 22-9663 FAX 22-9694
- 伊賀鉄道(株)総務企画課 ☎ 21-0863

## 明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

### 人権講座に参加して ～秘書課～

市役所で開催された市民人権講座に参加しました。テーマは「LGBTをもっと知ろう！」で、平日の夜の開催でしたが、中には学生の姿もあり、多くの方が参加されていて、関心の高さを感じました。

LGBTとは性的マイノリティ（少数者）の総称の1つで、レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシャル（両性愛者）、トランスジェンダー（からだの性に違和感をもつ人）の頭文字をとっています。

1月に発表されたある調査では、LGBTが性的マイノリティの総称の1つだと知っている人の割合が68.5%と前回の調査結果と比較して大きく増えた一方で、LGBT当事者であることを誰にも打ち明けていない人の割合は65.1%もありました。このことは、ここ数年LGBTに関する情報が増えたことで、認知度は高まりましたが、性の多様性について十分

な理解がされずに、偏見や差別意識が多くあることから、当事者がカミングアウトすることが難しい状況となっていることが伺えます。

講座では、LGBTの人権問題に取り組まれている（一社）ELLYの山口代表と、伊賀市に移住し、市が2016年4月に開始した「伊賀市パートナーシップ宣誓制度」で宣誓し、受領証の交付を受けた同性カップルとの対談があり、就職の面接での被差別体験や、家族や周囲との関係を壊したくないため異性愛者を装い続けてきたこと、カミングアウトしてからの心境の変化や環境の変化など、当事者だからこそその思いを聞くことができ、より理解を深めることができました。

一人でも多くの方がこのような機会を持つことができれば、性の多様性を認め合える社会へ近道となるのではないのでしょうか。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9684 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ